

夜空で星座を勉強しよう 2

夏の星座を見つけてみよう

夏の夜空は天の川がもっとも美しい季節です。天の川の中心にある3つの大きな星は、こと座のベガ、わし座のアルタイル、十字形に並ぶはくちょう座のデネブで、日本や中国では七夕（たなばた）の星として、ベガを織姫星、アルタイルを牽牛星と呼んで親しんできました。また、この3つの星を結ぶと、大きな二等辺三角形になることから*「夏の大三角形」とも呼ばれています。そのほかにも、天の川の南にはへびつかい座、その下にはSの字をしたさそり座がひとときわ明るく輝いています。

「夏の大三角形」

頭上のあたりにひとときわ明るく輝く星は、七夕のおり姫星ベガです。天の川をへだてて輝く彦星アルタイル、それに白鳥座の十文字の尾に輝くデネブも明るく輝いてます。それぞれこと座、わし座、白鳥座の1等星で、この3つの星を結んでできる大きな三角形を「夏の大三角形」といいます。

ペルセウス座流星群

お盆前の8月12日前後は、ペルセウス座流星群の流れ星がたくさん見られる時期です。ペルセウス座がのぼる夜半過ぎには、空の暗い所では1時間に50個以上の流れ星を見ることができます。

右の図は、

6月 5日の午前1時ごろ

6月20日の

午前0時ごろ

7月 5日の

午後11時ごろ

7月20日の

午後10時ごろ

8月 5日の

午後 9時ごろ

8月20日の午後

8時ごろ

南の空を見上げたときに見える星空です。

